活動状況

三石昆布組合

水中カメラによるモニタリングは目玉カメラ用のフレームに水中カメラの設定し、10秒間隔で自動撮影を行うよう設定し、船上からローブで海底まで沈めて移動しながら撮影を行います。
北海道協議会にモニタリングについての相談の中で、透明度が悪く潜水でなければモニタリングができない、しかし、潜水ができる漁業者がいない、委託すると委託費比率が50%を超えるなどの相談が多く寄せられます。
この方式であれば、カメラは5万円前後、フレームは保有している所から借りるなどすれば、非常に安価に効果的なモニタリングの優良事例として、三石昆布組合様にご協力いただき、今回紹介させていただきます。

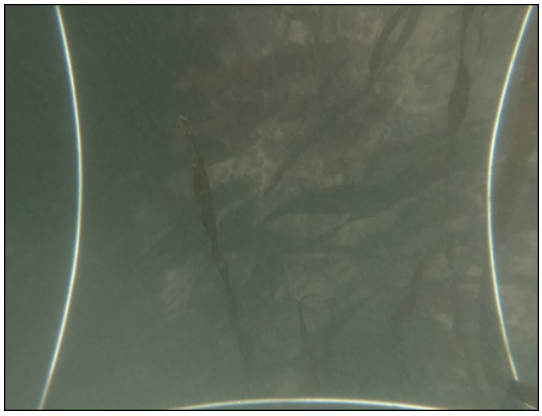
水中カメラ

目玉カメラのフレーム

カメラ投入

ロープで海底を這わせる

カメラ回収



被度はフレームが歪むため写真枠で判定する